



岡山市立福南中学校通信 発行：校長 小野 大

自律して自立に向かおう。そのチャンスの時と考えよう!

君の春をつかみとれ!

3年生の皆さんは、来週行われる公立高校の一般入試のことを心配していると思います。最後の追い込みの時に、教室で仲間と切磋琢磨しながら学ぶことができなくなってしまったことを、3年団の先生方も本当に残念に思っています。

「受験は団体戦である」という言葉を何度も聞いたと思います。一人で頑張っているとくじけそうになったり、諦めたりしてしまうことも多いと思います。でも、一緒に戦っている仲間の頑張っている姿を見たり、一緒に頑張ろうという声かけをしてもらうことで、もう一度自分自身を奮い立たせて、頑張ることができるという意味です。今は臨時休業中であり、目の前の

仲間と一緒に頑張ることはできません。しかし、君たち3年生ほど、心がつながっている仲間成長した学年はありません。目の前に仲間はなくても、君たちなら頑張っている仲間の姿を、そして仲間が背負っている重荷を、きっと思い浮かべることができるはずです。3年生になって見せてくれた『ONE』の力。君たちだからこそ、為しえたたくさんのパフォーマンス。培ってきた仲間の頑張りを信じて、また今日から一步一步進み続けてほしい。保護者の方たちも、福南中の先生たちも、君たちのことを心から応援している。あとひと踏ん張りだ!



新型コロナウイルスへの意識を高めよう!

2月27日の首相の発表を受けて、岡山市立の学校も感染拡大の防止を目的に、3月2日から臨時休業になっています。生徒の皆さんは、いろいろな不安もストレスもあることと思います。まずは、自分自身が感染症にかからないことが大切です。そのためには、今までに配付している資料を時々読み返すなど、気をつけるべきことに意識を時々向けることが大切です。大人でも、環境に慣れるとだんだんと、安心感を持ってしまい、気をつけて行うべきことを、つい省略してしまうことがあります。そうならないためにも、時々配布された資料を読み返すことが、危機意識を持続するのに有効と考えています。また、毎日の検温も続けることが、危機意識を持続することや疾病の発見ができ、命を守ることにつながります。毎日の取組を期待しています。

感謝の花を福南中に咲かせてくれてありがとう!

福南中学校で大きく成長した3年生は、卒業までにできる感謝の気持ちという花をいろいろなところで咲かせてくれています。

普段は、ほとんどお会いすることのない調理員の方と直接お会いして、感謝の気持ちを言葉とクラスのみんなからのメッセージカードで伝えました。



暑い夏の時期も、寒さが厳しい冬の時も、朝早くからみんなの給食を準備してくださっていることや細心の注意を払っておいしい給食を作ってくださっていることを知り、感謝の気持ちを形にしてお渡しすることができました。調理員の方は、心から喜ばれていました。

さて、3月は登校日も何日かありますが、1ヶ月間の休みになります。部活動もなく、自宅で過ごすことが多くなり、つい生活リズムを壊してしまわないかと心配しています。

福南中で培った自分で自分の行動をコントロールすること(自律)が大切です。1週間分のやるべきことを決めて、それを毎日のすべきことに分けて行動していきましょう。毎日、生活ノートに、その日に何を行ったかを記録することも有効です。ぜひ一日に一度は自分に向き合う時間を少しでもよいので持ってほしいと思っています。自分に合った方法でぜひ自律できる力を身につけてください。そして卒業に向けて自立した大人に成長するチャンスと考えて、この期間を過ごしてみましょ。卒業式や修了式で君たちの自立した姿に出合えることを期待しています。

自律 → 自立



これは現3年生が、新3年生と新2年生へのアドバイスなどを書いたメッセージで、各学年の廊下に掲示されています。「中学校生活はあっという間だから、最後の1年は全力で頑張っていこう。それとどんなときも笑顔でいよう!」「すぐに受験を受けるときが来る。本当に毎日の積み重ねが大切だから頑張りたいです。」など、自分たちの経験から在校生に伝えたい言葉を書いています。在校生への貴重なアドバイスをありがとう。ぜひ、次の学年でも廊下に掲示して、心がけてほしいと思っています。



【気になった新聞のコラム欄から】
かつて人間よりも身体的に強い生物が闊歩していた時代があった。強者が弱者を倒していく世界では、人間は生き残れるはずではなかった。しかし、生き残ったのは、強者ではなく、変化に適應できる弱者の方だった。それは身体的な弱者故に集団性を強め、その過程で仲間が考えていることを想像することができたからであり、自分とは異なる想像をも理解しようとし、多様性を得たからではないかとも言われている。福南中の君たちもこの多様性を身につけて育ってほしいと願っている